

# 第8章 歴史的風致形成建造物に関する事項

## 8-1.歴史的風致形成建造物の指定の方針

### (1)歴史的風致形成建造物の指定に関する基本的な考え方

本市は、これまで文化財保護法並びに愛知県及び岡崎市の文化財保護条例に加え、景観法等により一定数の建造物を対象に、その保護を図ってきた。しかし、本市には指定文化財等以外にも歴史的建造物は多く存在しており、これらの建造物においても適切な保護が求められている。今後も、これら歴史的建造物の保護を推進するため、本市の歴史的風致を形成する重要な構成要素である歴史的建造物のうち、重点区域における歴史的風致の維持向上を図る上で必要かつ重要と認められる建造物を「歴史的風致形成建造物」として指定する。これにより、指定文化財の保護とともに、指定文化財以外の歴史的建造物の保護を推進する。

なお、重点区域内においては、歴史的建造物の調査を実施し、歴史的価値等が明確になった建造物については、随時追加指定を図るものとする。

指定にあたっては、道路等の公共の場から容易に望見できる建造物のうち、所有者及び管理者と協議の上、同意が得られたものを前提として、歴史的風致の維持向上のために、その保護を図る必要があると認められるものを対象に、以下に示す「指定の基準」及び「指定対象の要件」を満たす建造物を指定する。なお、歴史的風致形成建造物の指定期間は、認定計画の計画期間内に限る。

### (2)歴史的風致形成建造物の指定の基準

重点区域内における国指定文化財を除く歴史的建造物で、次のいずれかに該当する建造物を指定する。

- ①意匠性、技術性が優れているもの
- ②地域の固有性、歴史性、希少性の観点から価値の高いもの
- ③外観が景観上の特徴を有し、まちなみ景観の構成要素として重要なもの

ただし、以下の条件を満たすものとする。

- ・築50年経過しているもの
- ・所有者又は管理者等により、今後当該建造物の適切な維持管理が見込まれ、かつ歴史的風致の維持向上に資するための一般公開等の諸活動が継続的に行われる見込みがあること



### (3)歴史的風致形成建造物の指定対象の要件

次のいずれかに該当する建造物を対象とする。

- ①愛知県文化財保護条例に基づく県指定文化財
- ②岡崎市文化財保護条例に基づく市指定文化財
- ③文化財保護法に基づく国登録有形文化財
- ④景観法に基づく景観重要建造物
- ⑤岡崎市水と緑・歴史と文化のまちづくり条例に基づくふるさと景観資産(建造物)
- ⑥その他歴史的風致の維持向上に寄与するものとして特に必要と市長が認める建造物

### (4)歴史的風致形成建造物候補及び指定一覧

歴史的風致形成建造物の指定が想定される建造物は次のとおりである。

「備考」の凡例	
①県指定文化財	②市指定文化財
③国登録有形文化財	④景観重要建造物
⑤ふるさと景観資産	⑥その他

表8-1-1 歴史的風致形成建造物候補一覧

No.	名称	写真	所有者 (管理者)	所在地	建築年	備考
	なし					

歴史的風致形成建造物に指定した建造物は次のとおりである。

「備考」の凡例	
①県指定文化財	②市指定文化財
③国登録有形文化財	④景観重要建造物
⑤ふるさと景観資産	⑥その他

表8-1-2 歴史的風致形成建造物指定一覧（次頁へつづく）


No.	名称	写真	所有者 (管理者)	所在地	建築年	備考
1	十王堂 ※指定:H29.6.1		民間	藤川町	江戸時代	④
2	旧石原家住宅 ※指定:H29.6.1		民間	六供町	主屋・土蔵:安政6年 (1859)	③、④
3	甲山寺本堂 (護摩堂) ※指定:H29.6.1		甲山寺	六供町	元禄15年(1702)~ 同16年(1703)再建	②
4	日吉山王社本殿 ※指定:H29.6.1		滝山東照宮	滝町	慶長13年(1608)(推定) 正保2年(1645)修築 (推定)	②
5	旧本宿村役場 ※指定:H29.6.1		岡崎市	本宿町	昭和3年(1928)	⑥

表8-1-2 歴史的風致形成建造物指定一覧（前頁よりつづく）

No.	名称	写真	所有者 (管理者)	所在地	建築年	備考
6	旧富田家住宅 ※指定 主屋:H29.6.1 土蔵:H30.9.1		民間	本宿町	主屋:文政10年 (1827) 土蔵:明治9年 (1876)(推定)	③
7	旧野村家住宅 (米屋) ※指定:H30.9.1		民間	藤川町	江戸時代	④
8	市場町郷蔵 ※指定:R1.9.1		民間	市場町	江戸時代	⑥
9	松平広忠公御廟所 ※指定:R1.9.1		松應寺	松本町	慶長10年(1605)	②
10	大樹寺伽藍 (三門、総門、裏二門、鐘楼、大方丈、本堂)		大樹寺	鴨田町	総門、裏二門:寛永15年(1638) 三門、鐘楼:寛永18年(1641) 大方丈・本堂:安政4年(1857)再建	①②
11	旧額田郡物産陳列所 看守人室 ※指定:R3.9.1		岡崎市	朝日町	大正2年(1913)	⑥

## 8-2.歴史的風致形成建造物の管理の指針

### (1)歴史的風致形成建造物の維持管理に関する基本的な考え方

歴史的風致形成建造物は、周囲の景観への影響や建造物の特徴に十分に配慮し、文化財保護法又は景観法等の他法令並びに条例に基づいて指定等がされている建造物については、その個別の法令等に基づき適正に維持管理を行う。その他の建造物についても、その価値に基づき適切に維持管理を行う。

歴史的風致形成建造物は、地域の歴史的風致を形成する主要な要素であることから、積極的な公開又は活用を図ることにより、歴史的風致の維持向上に寄与することが期待される。公開又は活用にあたっては、通常外部から望見されるだけでなく可能な範囲で内部公開に努めることとするが、所有者等の生活の場に大きな影響を及ぼさないよう十分な協議の上、実施する。

保存のための修理や修景、防災上の措置等を行う場合には、専門家や学識経験者等による必要な技術的指導等を踏まえて実施するものとする。特に民間が所有する建造物の修理等にあたっては、文化財に関わる補助制度や景観重要建造物等の修景助成制度の拡充等により、所有者等の負担の軽減に努めることとする。

なお、歴史的風致形成建造物の維持管理にあたってNPO法人等のまちづくりに係る団体が主体的に関わっている場合は、積極的に歴史的風致維持向上支援法人に指定し、連携して建造物の活用を図る。

### (2)歴史的風致形成建造物の維持管理の指針

#### ①県指定文化財又は市指定文化財である歴史的風致形成建造物

建造物の外部及び内部とも現状保存を基本とし、県又は市の文化財保護条例に基づく現状変更等の許可制度による保護を図る。これらの建造物を維持及び保存するための修理については、部材や関連文献等の調査・研究を行い、これらに基づいた修復や復原を原則とする。

#### ②国登録有形文化財である歴史的風致形成建造物

建造物の外観を主対象とした維持及び保存を基本とし、文化財保護法に基づく適切な維持管理を行う。外観の変更を伴わない部分的な改修や建築当初の外観への復原も認め、内部についても外観やそで行われる歴史及び伝統を反映した活動への影響を及ぼさない範囲で、活用のために必要な改造を認める。

### ③景観重要建造物である歴史的風致形成建造物

建造物の外観を主対象とした維持及び保存を基本とし、景観法に基づく現状変更等の許可制度による保全を図る。道路等の公共の場から望見できる範囲について景観上の調和を図るため、適切な維持管理又は復原のための修理若しくは修景を行う。それ以外の範囲については、歴史及び伝統を反映した人々の活動の場としての活用を妨げない範囲で、外観の変更を伴わない部分的な改修や建築当初の外観への復原も認めるものとする。

### ④岡崎市ふるさと景観資産(建造物)である歴史的風致形成建造物

建造物の外観を主対象とした維持及び保存を基本とする。水と緑・歴史と文化のまちづくり条例に基づく適切な維持管理を図る。外観の変更を伴わない部分的な改修や建築当初の外観への復原も認め、内部についても外観やそこで行われる歴史及び伝統を反映した活動への影響を及ぼさない範囲で、活用のために必要な改造を認める。

### ⑤上記以外の(法定又は条例による指定等を受けていない)歴史的風致形成建造物

建造物の外観を主対象とした維持及び保存を基本とする。外観の変更を伴わない部分的な改修や建築当初の外観への復原も認め、内部についても外観やそこで行われる歴史及び伝統を反映した活動への影響を及ぼさない範囲で、活用のために必要な改造を認めるものとする。他法令による保護措置が講じられていない建造物については、計画期間後も建造物の保護を図るため、適切な調査等を実施してその価値を明らかにするとともに、その価値が減ることがないように、必要に応じて指定文化財又は景観重要建造物の指定等と重複するよう努めるものとする。

## (3)歴史的風致形成建造物の指定に伴う義務等

### ①所有者の管理義務

指定を受けた建造物の所有者及び管理者は、建造物の保全に支障をきたさないよう適切に管理する義務が生じる。

### ②増築等の維持、保全又は継承に伴う制約

建造物の増築、改築、移転又は除却を行う場合には、着手する日の30日前までに市長に届出が必要となる。市長は、建造物の保全に支障をきたすものであると認めた場合には、設計の変更等の措置を講ずべきことを勧告することができる。

指定を受けた建造物が、重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡名勝天然記念物若しくは重要伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物群を構成する建造物に指定された場合、又は滅失、き損その他の事由により指定の理由が消滅した場合は、指定を解除する。

建造物の所有者に変更があった場合には、新しい所有者が市長に届出をする必要がある。

### ③届出が不要な行為

歴史まちづくり法第15条第1項第1号及び同法施行令第3条第1号の規定に基づく届出が不要な行為については、次のとおりとする。

- ア. 愛知県文化財保護条例第4条第1項の規定に基づく県指定文化財について、同条例第12条第1項の規定に基づく現状変更等の許可を受け行う行為及び同条例第13条第1項の規定に基づく修理の届出をして行う行為
- イ. 岡崎市文化財保護条例第6条第1項の規定に基づく市指定文化財について、同条例第14条の規定に基づく現状変更等の許可を受け行う行為及び同条例第15条の規定に基づく修理の届出をして行う行為
- ウ. 文化財保護法第57条第1項の規定に基づく登録有形文化財について、同法第64条第1項の規定に基づく現状変更の届出をして行う行為
- エ. 景観法第19条第1項に基づく景観重要建造物で同法第22条第1項の規定に基づく現状変更の許可を受け行う行為
- オ. 岡崎市水と緑・歴史と文化のまちづくり条例第39条第1項の規定に基づくふるさと景観資産について、同条例第42条第3項の規定に基づく現状変更の届出をして行う行為
- カ. その他、市長が必要と認めて行う行為



# 参考資料

## 資料-1.指定等文化財一覧表

### (1)国指定文化財

表 資料-1-1 国指定文化財

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日
建造物	滝山寺三門	文永 4 年(1267)	滝山寺	滝町	M34.3.27
	妙源寺柳堂(附 厨子及び須弥壇、棟札)	正和 3 年(1314)	妙源寺	大和町	M36.4.15
	信光明寺観音堂(附 棟札)	文明 10 年(1478)	信光明寺	岩津町(棟札は岡崎市美術博物館)	M37.2.18
	大樹寺多宝塔(附 棟札)	天文 4 年(1535)	大樹寺	鴨田町	M37.2.18
	滝山寺本堂	室町前期	滝山寺	滝町	M37.2.18
	天恩寺仏殿	室町前期	天恩寺	片寄町	M40.5.27
	天恩寺山門	室町後期	天恩寺	片寄町	M40.5.27
	八幡宮本殿	室町後期	上地八幡宮	上地町	T15.4.19
	八幡宮本殿(附 棟札)	元和 5 年(1619)	土呂八幡宮	福岡町	S6.1.19
	伊賀八幡宮本殿、幣殿、拝殿、透塀、御供所、隨身門、神橋、鳥居(附 宮殿、棟札)	寛永 13 年(1636)	伊賀八幡宮	伊賀町	S8.1.23
	六所神社本殿、幣殿、拝殿、神供所、楼門(附 厨子、棟札)	寛永 13 年(1636)(本殿) 貞享 5 年(1688)(楼門)	六所神社	明大寺町	S10.5.13
	滝山東照宮本殿、幣殿、拝殿、中門、鳥居、水屋(附 厨子、石柵、棟札、銅燈籠)	正保 3 年(1646)	滝山東照宮	滝町	S28.11.14
	旧額田郡公会堂及物産陳列所(附 門柱、棟札、銘札)	大正 2 年(1913 年)	岡崎市	朝日町	H11.12.1
絵画	絹本著色善光寺如来絵伝	室町前期	妙源寺	大和町	T7.4.8
	絹本著色法然上人絵伝	室町中期	妙源寺	大和町	T7.4.8
	絹本著色親鸞上人絵伝	室町中期	妙源寺	大和町	T7.4.8
	絹本墨画淡彩如意輪観音図	鎌倉	大樹寺	岡崎市美術博物館	S29.3.20
	大方丈障壁画岡田為恭筆	安政 4 年(1857)	大樹寺	鴨田町	S29.3.20
	絹本著色光明本尊	鎌倉	妙源寺	大和町	H26.8.21
彫刻	木造慈恵大師坐像	文永 11 年(1274)	真福寺	真福寺町	S16.11.6
	木造観音菩薩・梵天・帝釈天立像	鎌倉	滝山寺	滝町	S56.6.9

	木造兜跋毘沙門天立像	平安	庚申講	鹿勝川町	H14.6.26
工芸品	太刀 銘正恒 附 糸巻太刀拵	鎌倉 正保 3 年(1646)家綱寄進	滝山東照宮	岡崎市 美術博物館	T3.4.17
	太刀 銘長光 附 糸巻太刀拵	鎌倉 正保 3 年(1646)將軍家光寄進	滝山東照宮	岡崎市 美術博物館	T3.4.17
	鉦鼓用引架	室町	昌光律寺	伊賀町	S37.6.21
書籍文書	色紙阿弥陀經	平安後期	満性寺	菅生町	H16.6.8
史跡	北野廃寺跡	飛鳥後期	岡崎市	北野町	S4.12.17
	大平一里塚	慶長 9 年(1604)	岡崎市	大平町	S12.12.21
	真宮遺跡	縄文晩期～平安	岡崎市	六名 1 丁目 真宮町	S51.6.7
天然記念物	岡崎ゲンジボタル発生地	—	愛知県・岡崎市	須淵町 他	S10.12.24

## (2)県指定文化財

表 資料-1-2 県指定文化財

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日
建造物	大樹寺伽藍(三門、総門、裏二門、鐘楼、大方丈)	総門・裏二門 寛永 15 年(1638) 三門及び鐘楼 寛永 18 年(1641) 大方丈 安政 4 年(1857)再建	大樹寺	鴨田町	S30.6.6
	淇茶庵並水屋	正保年間(宗徧茶室)	明願寺	伊賀町	S54.6.13
絵画	絹本着色山越阿弥陀如来像	鎌倉	大樹寺	岡崎市 美術博物館	S30.6.6
	絹本着色当麻曼荼羅絵	鎌倉	大樹寺	岡崎市 美術博物館	S30.6.6
	絹本着色二十五菩薩来迎図	鎌倉	大樹寺	岡崎市 美術博物館	S30.6.6
	僧月僊作品群	江戸	昌光律寺	伊賀町	S30.6.6
	絹本着色善光寺如来絵伝	室町	満性寺	菅生町	S32.1.12
	絹本着色法然上人絵伝	室町中期	満性寺	菅生町	S32.1.12
	絹本着色持鉢釈迦如来画像	中国明代	萬松寺	岡崎市 美術博物館	S32.9.6
	絹本着色太子講讃孝養の図	室町初中期	満性寺	菅生町	S32.9.6
彫刻	木造狛犬	鎌倉末～室町初期	滝山寺	滝町	S32.1.12
	木造南無仏太子像	鎌倉後期	満性寺	菅生町	S33.3.29

	木造阿弥陀如来坐像	鎌倉後期	土呂八幡宮	福岡町	S37.3.10
	塑像仏頭	奈良	真福寺	真福寺町	S58.3.7
	木造阿弥陀如来坐像	平安末期	大樹寺	鴨田町	S59.2.27
	木造勢誉上人坐像	明応6年(1497)	大樹寺	鴨田町	S59.2.27
	木造阿弥陀如来坐像	鎌倉初期	称名寺	藤川町	H26.8.1
	木造毘沙門天立像	平安後期	滝山寺	滝町	R2.2.7
	木造菩薩立像(伝十一面観音)	鎌倉	滝山寺	滝町	R4.1.28
	木造東照大権現(徳川家康)坐像	正保4年(1647)	大樹寺	鴨田町	R4.7.29
工芸品	大身の鎗	室町初期	個人	岡崎城	S30.6.6
	錫杖	鎌倉及び室町	滝山寺	滝町	S33.3.29
	孔雀文磬	明応4年(1495)	滝山寺	滝町	S33.3.29
	根来塗払子	安土桃山	萬松寺	岡崎市 美術博物館	S33.3.29
	藍染繡衣陣羽織	室町～安土桃山	萬松寺	岡崎市 美術博物館	S33.6.21
	白麻二十五条袈裟	慶長8年(1603)	萬松寺	岡崎市 美術博物館	S33.6.21
	唐絹萌黄七条甲袈裟	江戸初期	萬松寺	岡崎市 美術博物館	S33.6.21
	磬	大治2年(1127)	桜井寺	岡崎市 美術博物館	S35.6.2
	木造菩薩面(附4点)	鎌倉	滝山寺	滝町	S60.7.12
	銅鉦鼓(附:鉦架)	室町	信光明寺	岩津町	H30.8.24
	蒔絵曲祿	安土桃山	滝山寺	滝町	R2.2.7
	書・典籍・古文書	大樹寺文書	中世～近世	大樹寺	岡崎市 美術博物館
考古資料	岩津第1号古墳出土品	6世紀後半	岡崎市	岡崎市 美術博物館	S42.3.17
	洞(伝)の銅鐸	弥生	法蔵寺	岡崎市 美術博物館	S49.7.3
有形民俗 文化財	大川神明宮の舞台	明治15年(1882)	大川神明宮	大高味町	S51.11.1
	万足平の猪垣	江戸後期	万足平を考える会	中金町	S56.2.23
無形民俗 文化財	滝山寺鬼祭り	正保4年(1647)復活	滝山寺鬼まつり保存会	滝町	S29.3.12
	千万町の神楽	宝暦元年(1751)	千万町神楽保存会	千万町町	S39.3.23
史跡	岩津第1号古墳	6世紀後半	岡崎市	岩津町	S42.3.17
	神明宮第1号古墳	6世紀後半	神明宮	丸山町	S50.12.26
	太夫塚古墳	古墳中期	個人	若松町	S50.12.26
天然記念物	寺野の大クス	—	寺野薬師堂	夏山町	S43.11.4

	切山の大スギ	—	皇太神社	切山町	S43.11.4
	北山湿地	—	岡崎市	池金町	H29.2.10
	下山小学校のヤマザクラ	-	岡崎市	保久町	R2.2.7
	藤川の松並木	-	愛知県・岡崎市	藤川町	R2.8.7
	岡崎城跡の五万石ふじ	-	岡崎市	康生町	R4.1.28

### (3)市指定文化財

表 資料-1-3 市指定文化財（有形文化財(建造物)、民俗文化財(有形民俗文化財、無形民俗文化財)、記念物(史跡、記念物)）

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日
建造物	真福寺仁王門	明応3年(1494)再建	真福寺	真福寺町	S35.3.10
	切越八面塔	平安末期	切越町	切越町	S42.9.14
	足利尊氏石宝塔	延文3年(1358)	八剣神社	大門3丁目	S42.9.14
	久世平太夫石宝塔	天文15年(1546) 安永8年(1779)修造	長福寺	竜泉寺町	S42.9.14
	酒井広親石宝塔	長禄3年(1459)	信光明寺	岩津町	S42.9.14
	大久保浄源石宝塔	天正9年(1581)	長福寺	竜泉寺町	S42.9.14
	大久保忠貞石宝塔	天正10年(1582) 宝暦12年(1762)修補	長福寺	竜泉寺町	S42.9.14
	諏訪神社石灯笼	天正16年(1588)	諏訪神社	梅園町	S42.9.14
	犬頭神社石鳥居	慶長10年(1605)	糟目犬頭神社	宮地町	S42.9.14
	弟也斎	天保の頃(龍溪茶室)	明願寺	伊賀町	S53.6.15
	明神型石鳥居	寛永15年(1638)	菅生神社	康生町	H2.3.22
	甲山寺本堂(護摩堂)(附 棟札)	元禄15年(1702)~元禄16年(1703)再建	甲山寺	六供町	H17.12.20
	日吉山王社本殿	慶長13年(1608)(推定) 正保2年(1645)修築(推定)	滝山東照宮	滝町	H18.12.21
	大樹寺本堂	安政4年(1857)再建	大樹寺	鴨田町	H20.6.16
	大樹寺開山堂	江戸前期	大樹寺	鴨田町	H20.6.16
	伊賀八幡宮末社上総社社殿、牟久津社社殿	寛永13年(1636)(推定)	伊賀八幡宮	伊賀町	H23.3.23
有形民俗文化財	祭礼山車(1台)	江戸末期	矢作町3区	矢作町	S43.2.8
	祭礼山車(1台)	江戸末期	矢作町2区	矢作町	S48.3.23
	渭信寺絵馬群(95点)	明治~大正	渭信寺	上文衣町	H3.2.6
	八帖諏訪神社絵馬群(10点)	江戸中期~明治	諏訪神社	岡崎市 美術博物館	H3.2.6
	六所神社絵馬群(83点)	室町後期~江戸	六所神社	明大寺町	H3.2.6

	矢作神社絵馬群(12点)	江戸～明治	矢作神社	矢作町	H3.2.6
	保久八幡宮舞台	明治27年(1894)改築	保久八幡宮	保久町	H17.9.16
無形民俗 文化財	大嘗祭悠紀斎田(田植唄、踊り、用具、装束一式)	大正4年(1915)	六ツ美悠紀斎田保存会 岡崎市	中島町	S41.3.10
	デンデンガッサリ	室町	デンデンガッサリ保存会	舞木町	S47.7.5
	須賀神社祭礼山車及び祭りばやし	江戸	須賀神社祭礼山車及び祭りばやし保存会	檜山町	S57.1.8
	夏山八幡宮火祭り	永禄元年(1558)	夏山八幡宮	夏山町	H17.9.16
	堤通手永御田扇祭り	江戸中期	堤通手永御田扇祭り保存会	岡崎市内 16箇所※1	H27.6.30
	山方手永御田扇祭り	江戸中期	山方手永御田扇祭り保存会	岡崎市内 12箇所※2	H27.6.30
史跡	高隆寺跡	平安後期	個人	高隆寺町	S37.6.15
	松平八代墓	室町	大樹寺	鴨田町	S37.6.15
	岡崎城跡	享徳元年(1452)～康正元年(1455)築城	岡崎市	康生町	S37.6.15
	山中城跡	大永4年(1524)清康入城	岡崎市	舞木町	S37.6.15
	松平清康墓 松平広忠墓	天文4年(1535)清康没 天文18年(1549)広忠没	大林寺	魚町	S37.6.15
	本多忠勝誕生地	天文17年(1548)誕生	岡崎市	西蔵前町	S37.6.15
	上宮寺境内地	永禄6年(1563) 一向一揆発端地	上宮寺	上佐々木町	S37.6.15
	勝鬨寺境内地	永禄6年(1563) 一向一揆拠点地	勝鬨寺	針崎町	S37.6.15
	松平広忠公御廟所	慶長10年(1605)	松應寺	松本町	S37.6.15
	大久保忠教墓 大久保忠員墓 宇津忠茂墓	寛永16年(1639)	長福寺	竜泉寺町	S37.6.15
	保久城主山下家墓所	鎌倉～室町	個人	保久町	S45.12.1
	甲山第1号墳	古墳中期	甲山寺	六供町	S47.7.5
	石田第1号墳	古墳後期	個人	細川町	S47.7.5
	石田第2号墳	古墳後期	個人	細川町	S47.7.5
	村上遺跡	縄文早期～縄文晩期	岡崎市	丸山町	S48.5.6
	村上古墳	古墳後期	岡崎市	丸山町	S48.5.6
	松本古窯跡	鎌倉	岡崎市	竜泉寺町	S49.1.11
	千人塚	応仁元年(1467)井田野の戦	鴨田町	鴨田町	S49.1.11
	藤川宿脇本陣跡	江戸	岡崎市	藤川町	S53.10.21
	猿投塚古墳	古墳中期(推定)	岡崎市	橋目町	S55.7.11
奥殿藩藩主廟所	江戸	個人	奥殿町	S63.11.7	

	日近城跡	室町	広祥院	桜形町	H2.7.6
	雨山砦跡及び雨山合戦地	弘治2年(1556)	個人	雨山町	H4.6.15
	小豆坂古戦場跡	天文17年(1548)他	愛知県	戸崎町	H11.10.7
天然記念物	ごばん山第3紀末波蝕巨礫群	—	個人等	池金町 生平町	S37.6.15
	聖善寺のしだれ桜	—	聖善寺	宇頭町	S38.5.8
	白山神社の大きくす	—	白山神社	康生町	S38.5.8
	土呂陣屋の松	—	岡崎市	福岡町	S38.5.8
	法蔵寺の桜	—	法蔵寺	本宿町	S38.5.8
	奥山田のしだれ桜	—	奥山田のしだれ桜保存会	奥山田町	S38.5.8
	石神のちょうせんがや	—	個人	駒立町	S38.5.8
	大樹寺のしい	—	大樹寺	鴨田町	S38.5.8
	見返りの大スギ	—	天恩寺	片寄町	S46.5.20
	夏山の大スギ	—	諏訪神社	夏山町	S46.5.20
	牛乗山第三紀末波蝕巨礫群	—	薬師寺	藤川町	S46.9.25
	瓶井神社の大ケヤキ	—	瓶井神社	保母町	S47.7.5
	才栗のイチイガン	—	白髭神社	才栗町	S47.7.5
	才栗のムクノキ	—	個人	才栗町	S47.7.5
	須淵素盞鳴神社社叢	—	素盞鳴神社	須淵町	S50.3.26
	法蔵寺のイヌマキ	—	法蔵寺	本宿町	S50.3.26
	浄光寺のイチヨウ	—	浄光寺	中島町	S50.3.26
	切越の夫婦ヒノキ	—	須佐之男社	切越町	S51.3.31
	茅原沢神明宮社叢	—	個人	茅原沢町	S53.10.21
	山中八幡宮のヒメハルゼミ生息地	—	山中八幡宮	舞木町	S57.9.8
	ゲンジボタル	—	愛知県・岡崎市	鳥川町他	S58.7.14
	瑞雲寺クロガネモチ	—	瑞雲寺	石原町	S60.1.26
	山中八幡宮のクスノキ	—	山中八幡宮	舞木町	S60.3.6
	浄光寺のハマボウ	—	浄光寺	中島町	S60.3.6
	とよとみ梨	—	個人	鳥川町	H2.7.6
	キンノウエトタゲモ生息地	—	岡崎市	康生町	H19.6.12
桜井寺のシロバイ自生地	—	桜井寺	桜井寺町	H29.12.26	

※1: 中之郷町、上青野町、高橋町、上合歡木町、下合歡木町、安藤町、福桶町、下三ツ木町、上三ツ木町、下青野町、在家町、土井町、牧御堂町、法性寺町、宮地町、赤浜町

(ただし、上合歡木町、下合歡木町は合歡木町内にある通称町であり、行政上の町ではない。)

※2: 井内町、下和田町、国正町、正名町、定国町、中村町、坂左右町、野畑町、若松町、針崎町、柱町、羽根町

(ただし、若松町、針崎町、羽根町は山方手永御田扇祭りに関わる旧来からの地区(マチ)を表す。)

## (4)国登録文化財

表 資料-1-4 国登録文化財

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	登録年月日
建造物	八丁味噌本社事務所	昭和 2 年(1927)	(資)八丁味噌	八帖町	H8.12.20
	八丁味噌本社蔵(史料館)	明治 40 年(1907)	(資)八丁味噌	八帖町	H8.12.20
	本光寺本堂	大正 2 年(1913)	本光寺	上青野町	H19.10.2
	本光寺山門	文政 10 年(1827)	本光寺	上青野町	H19.10.2
	岡崎信用金庫資料館(旧岡崎銀行本店)	大正 6 年(1917)	岡崎信用金庫	伝馬通 1 丁目	H20.3.7
	旧石原家住宅主屋	安政 6 年(1859)	個人	六供町	H23.7.25
	旧石原家住宅土蔵	安政 6 年(1859)	個人	六供町	H23.7.25
	旧石原家住宅庭門	昭和初期	個人	六供町	H23.7.25
	旧愛知県第二尋常中学校講堂	明治 30 年(1897) 大正 14 年(1925)移築	岡崎市	針崎町	H25.3.29
	旧愛知県岡崎師範学校武道場	大正 15 年(1926)	国立大学法人 愛知教育大学	六供町	H25.12.24
	日本福音ルーテル岡崎教会教会堂	昭和 28 年(1953)	宗教法人日本 福音ルーテル 教会	伝馬通 4 丁目	H25.12.24
	旧本多家住宅主屋	昭和 7 年(1932) 平成 24 年(2012)移築	岡崎市	欠町	H26.10.7
	善立寺本堂	享保 19 年(1734) 昭和 5 年(1930)、昭和中期改修	善立寺	祐金町	H27.11.17
	善立寺七面堂	江戸後期 明治後期、昭和 44 年(1969) 改修	善立寺	祐金町	H27.11.17
	善立寺玄関	明治 31 年(1898)	善立寺	祐金町	H27.11.17
	善立寺山門	明治前期	善立寺	祐金町	H27.11.17
	愛知県立岡崎高等学校正門門柱(旧愛知県立第二中学校正門)	大正 13 年(1924) 昭和 47 年(1972)移設	愛知県	明大寺町	H29.6.28
	愛知県立岩津高等学校正門旧門柱(旧岩津町立愛知県岩津農商学校正門)	昭和 12 年(1937) 昭和 60 年(1985)移設	愛知県	東蔵前町	H29.6.28
	富田家住宅木南舎	文政 10 年(1827) 明治前期・平成 30 年(2018) 改修	個人	本宿町	R2.4.3
富田家住宅土蔵	明治 9 年(1876) 平成 30 年(2018)改修	個人	本宿町	R2.4.3	

## (5)近代化遺産

表 資料-1-5 近代化遺産

区分	名称	時代	所在地	備考
建築物	六供浄水場(ポンプ室)	昭和 8 年(1933)	六供町	近代土木遺産※ <sup>1</sup>
	六供浄水場(配水塔)	昭和 9 年(1934)	六供町	景観重要建造物 近代土木遺産
	旧額田郡公会堂	大正 2 年(1913)	朝日町	国指定文化財
	旧額田郡物産陳列所	大正 2 年(1913)	朝日町	国指定文化財
	旧額田郡物産陳列所看守人室	大正 2 年(1913)	朝日町	
	旧本宿村役場	昭和 3 年(1928)	本宿町	H20 解体、R4 復原
	愛知県立農業大学校講堂(追進館)	昭和 10 年(1935)	美合町	
	旧愛知県第二尋常中学校講堂	明治 30 年(1897)頃	針崎町	国登録文化財
	岡崎信用金庫資料館(旧岡崎銀行本店)	大正 6 年(1917)	伝馬通	国登録文化財
	八丁味噌本社事務所	昭和 2 年(1927)	八帖町	国登録文化財 景観重要建造物
	八丁味噌本社蔵(史料館)	明治 40 年(1907)	八帖町	国登録文化財 景観重要建造物
	旧愛知県立岡崎師範学校武道館	大正 14 年(1925)	六供町	国登録文化財
	岩津水力発電所	昭和2年(1927)	川向町	
土木構造物	岩津堰堤(付導水路)	明治 30 年(1897)	日影町	近代土木遺産
	官営愛知紡績所遺構	明治 14 年(1881)	丸山町 大平町	近代土木遺産
	鉢地坂トンネル	昭和8年(1933)	鉢地町他	近代土木遺産
	坂下橋	昭和6年(1931)	鉢地町	
	殿橋	昭和2年(1927)	康生通南他	近代土木遺産
	明代橋	昭和 12 年(1937)	唐沢町他	
	名鉄本線菅生川橋梁	大正 12 年(1923)	矢作町他	
	ガラ紡績遺構(青木川)堰堤・導水路	明治	滝町	
	ガラ紡績遺構(乙川水系)堰堤	明治	秦梨町	
工作物	ガラ紡績遺構(男川水系)水車及び周辺遺構	明治	桜井寺町	

※1:土木学会出版「日本の近代土木遺産(改訂版)」より



## 資料-2.図表一覧表

### (1)図一覧表

表 資料-2-1 図一覧表

番号	図表名	提供・出典(空欄は岡崎市所有・作成)
図0-1-1	岡崎城天守(景観重要建造物)	
図0-1-2	乙川(一級河川)より岡崎城天守を望む	
図0-2-1	歴史的風致の概念	歴史まちづくり法に基づく5年間の取組み成果(国土交通省、文部科学省、農林水産省)
図0-2-2	景観策定のねらいの模式図	
図0-4-1	計画策定の体制	
図1-1-1	愛知県の位置	
図1-1-2	岡崎市の位置	岡崎市都市計画マスタープラン(平成22年2月)
図1-1-3	合併による市域の拡大	
図1-2-1	岡崎市の高低差	岡崎市景観計画(平成24年3月)
図1-2-2	航空写真(岡崎市街地)	
図1-2-3	地形・地質	岡崎市防災ガイドブック(平成27年3月)
図1-2-4	河川の分布	岡崎市水環境創造プラン(平成20年3月)
図1-2-5	平均気温と平均降水量(平成22年(2010)~26年(2014))	岡崎市統計
図1-3-1	総人口の推移と老年人口・年少人口の割合	国勢調査
図1-3-2	将来推計人口(総人口)	岡崎市人口推計報告書(平成26年5月)
図1-3-3	人口の年齢別構成(平成27年(2015)3月1日現在)	岡崎市統計(平成27年3月1日現在)
図1-3-4	将来推計人口(年齢3区分)	岡崎市人口推計報告書(平成26年5月)
図1-3-5	世帯数	国勢調査
図1-3-6	地目別土地利用面積の構成比(平成26年(2014)度)	土地に関する統計年報(愛知県)(平成26年度版)
図1-3-7	岡崎市全域の航空写真	
図1-3-8	道路網図	岡崎市総合交通政策(平成26年度)
図1-3-9	市内鉄道利用者数(乗客数)	岡崎市総合交通政策(平成26年度)
図1-3-10	市内バス利用者数(乗客数)	岡崎市総合交通政策(平成26年度)
図1-3-11	鉄道・バス路線網図	岡崎市総合交通政策(平成26年度)
図1-3-12	産業別就労者数(15歳以上)	国勢調査
図1-3-13	ぶどう(岡崎市のブランド化推進品目)	
図1-3-14	岡崎東部工業団地	愛知県企業庁
図1-3-15	家康行列	

図1-3-16	滝山寺鬼祭り	岡崎市観光協会
図1-3-17	主要観光施設入り込み客数(種類別)(平成 25 年(2013))	愛知県観光レクリエーション利用者統計(平成 25 年)
図1-3-18	岡崎城入館者数の推移	
図1-4- 1	真宮遺跡の平地式住居と土器棺墓(復元)	
図1-4- 2	矢作川・乙川流域の地形と現在の市街地等	新編岡崎市史 14
図1-4- 3	矢作川の様子(天神橋下流より)	
図1-4- 4	太夫塚古墳	
図1-4- 5	古墳の分布	
図1-4- 6	北野廃寺跡	
図1-4- 7	北野廃寺跡から出土した瓦	
図1-4- 8	北野廃寺跡の伽藍配置	国指定史跡 北野廃寺(1991 年)
図1-4- 9	古代寺院の分布	
図1-4-10	矢作川中下流域に広がる足利一族	新編岡崎市史2
図1-4-11	国指定文化財のうち、中世(鎌倉・室町時代)に建造された建築物	
図1-4-12	鎌倉時代の寺院と道場	新編岡崎市史2
図1-4-13	三河に広がる奉公衆	
図1-4-14	岩津城	新編岡崎市史2 千田嘉博氏の図を参照して奥田氏作図
図1-4-15	山中城	新編岡崎市史2 千田嘉博氏作図
図1-4-16	松平諸家の分立図	新編岡崎市史2
図1-4-17	松平八代系図	
図1-4-18	蓮如・如光連座絵像	上宮寺
図1-4-19	四天王(左から、酒井忠次、本多忠勝、榊原康政、井伊直政)	酒井忠次:先求院(京都市) 本多忠勝:個人 榊原康政:榊原康政像、東京国立博物館、Image:TNM Image Archives 井伊直政:彦根城博物館
図1-4-20	岡崎出身の大名(幕末期)	おかざき観光ガイドブック
図1-4-21	小豆坂古戦場跡	
図1-4-22	家康公産湯の井戸	岡崎市観光協会
図1-4-23	一向一揆関係図	ふるさとの歴史岡崎
図1-4-24	東海道の位置の変遷	
図1-4-25	岡崎城郭	
図1-4-26	朱印状(大樹寺)	大樹寺
図1-4-27	朱印状が与えられた寺社	
図1-4-28	水野氏時代(正保2年(1645)~宝暦 12 年(1762))の岡崎藩領	新編岡崎市史3
図1-4-29	岡崎市内の土場	

図1-4-30	石屋町界隈(昭和14年(1939))	
図1-4-31	三河花火工場(大正期)	岡崎地方史研究会
図1-4-32	八丁味噌 カクキュー合資会社(大正期)	岡崎地方史研究会
図1-4-33	菅江真澄画像	個人(未来社提供)
図1-4-34	富士画賛(卓池筆)	満性寺
図1-4-35	萩原図(卓池白画賛)	個人
図1-4-36	夏陰山山水図(卓池白画賛)	個人
図1-4-37	瞽者図	随念寺
図1-4-38	仏涅槃図	龍泉寺
図1-4-39	雨中山水図	
図1-4-40	青緑山水図	
図1-4-41	額田県の成立と廃止	
図1-4-42	旧岡崎城天守(明治5年(1872)、南東方向より)	
図1-4-43	ガラ紡水車	新編岡崎市史4
図1-4-44	岡崎停車場	個人
図1-4-45	岡崎市内線	
図1-4-46	焦土と化した岡崎市街	
図1-4-47	戦災範囲と歴史的建造物の位置	
図1-4-48	岡崎市戦災復興土地区画整理事業の施行前後の比較(A:施行前、B:施行後(網掛部は対象外区域))	新編岡崎市史5
図1-5-1	岡崎城下の絵図(前本多時代(慶長6年(1601)~正保2年(1645)))	西尾市岩瀬文庫
図1-5-2	近世初期の城下町(慶長6年(1601)前後)	
図1-5-3	岡崎城下の絵図(後本多時代(明和6年(1769)~明治4年(1871)))	
図1-5-4	近世における城下町(正保2年(1645)頃)	
図1-5-5	岡崎の市街地(明治26年(1893))	愛知県1/5万図歴地形図 岡崎
図1-5-6	近代における城下町(明治26年(1893)頃)	
図1-5-7	岡崎の市街地(大正9年(1920))	愛知県1/5万図歴地形図 岡崎
図1-5-8	岡崎の市街地(昭和7年(1932))	愛知県1/5万図歴地形図 岡崎
図1-5-9	岡崎の市街地(昭和26年(1951))	愛知県1/5万図歴地形図 岡崎
図1-5-10	岡崎の市街地(昭和33年(1958))	愛知県1/5万図歴地形図 岡崎
図1-5-11	岡崎の市街地(平成2年(1990))	愛知県1/5万図歴地形図 岡崎
図1-5-12	現在の岡崎市街地(平成27年(2015))	
図1-6-1	源範頼像	太寧寺(横浜市)
図1-6-2	足利義氏像	鏝阿寺(栃木県足利市)
図1-6-3	足利尊氏像	浄土寺(広島県尾道市)
図1-6-4	足利義満像	鹿苑寺(京都市)

図1-6-5	松平親氏像	高月院(豊田市)
図1-6-6	松平信光像	萬松寺
図1-6-7	蓮如像	上宮寺
図1-6-8	松平信忠像	大樹寺
図1-6-9	松平清康像	随念寺
図1-6-10	徳川家康像	
図1-6-11	酒井忠次像	先求院(京都市)
図1-6-12	本多忠勝像	個人
図1-6-13	榊原康政像	榊原康政像、東京国立博物館、Image:TNM Image Archives
図1-6-14	井伊直政像	彦根城博物館
図1-6-15	徳川信康像	勝蓮寺
図1-6-16	徳川家光像	金山寺(岡山市)(岡山県立博物館提供)
図1-6-17	田中吉政像	真勝寺(福岡県柳川市)
図1-6-18	本多康重像	忠恩寺(長野県飯山市)
図1-6-19	本多康紀像	旧岡崎市史2
図1-6-20	本多忠利像	旧岡崎市史2
図1-6-21	水野忠善像	旧岡崎市史2
図1-6-22	玄々斎精中像	
図1-6-23	松平乗謨	個人
図1-6-24	臥雲辰致	
図1-6-25	本多忠直像	旧岡崎市史2
図1-6-26	志賀重昂	
図1-7-1	国・県・市指定文化財の分布(国・県・市指定の有形文化財建造物、史跡、有形・無形民俗文化財等を掲載)	
図1-7-2	滝山寺三門	
図1-7-3	滝山寺三門の位置	
図1-7-4	妙源寺柳堂	
図1-7-5	妙源寺柳堂の位置	
図1-7-6	信光明寺観音堂	
図1-7-7	信光明寺観音堂の位置	
図1-7-8	大樹寺多宝塔	
図1-7-9	大樹寺多宝塔の位置	
図1-7-10	滝山寺本堂	
図1-7-11	滝山寺本堂の位置	
図1-7-12	天恩寺仏殿	
図1-7-13	天恩寺仏殿の位置	
図1-7-14	天恩寺山門	

図1-7-15	天恩寺山門の位置	
図1-7-16	上地八幡宮本殿	
図1-7-17	上地八幡宮本殿の位置	
図1-7-18	土呂八幡宮本殿	
図1-7-19	土呂八幡宮本殿の位置	
図1-7-20	伊賀八幡宮拝殿	
図1-7-21	伊賀八幡宮本殿等の位置	
図1-7-22	六所神社拝殿	
図1-7-23	六所神社楼門	
図1-7-24	六所神社本殿等の位置	
図1-7-25	滝山東照宮拝殿	
図1-7-26	滝山東照宮本殿等の位置	
図1-7-27	旧額田郡公会堂	
図1-7-28	旧額田郡物産陳列所	
図1-7-29	旧額田郡公会堂及物産陳列所の位置	
図1-7-30	大樹寺三門	
図1-7-31	淇菴庵並水屋	
図1-7-32	真福寺仁王門	
図1-7-33	諏訪神社石燈籠	
図1-7-34	弟也斎	
図1-7-35	明神型石鳥居	
図1-7-36	甲山寺本堂	
図1-7-37	日吉山王社本殿	
図1-7-38	大樹寺本堂	
図1-7-39	大樹寺開山堂	
図1-7-40	伊賀八幡宮末社上総社社殿、牟久津社社殿	
図1-7-41	八丁味噌本社事務所	
図1-7-42	本光寺本堂	
図1-7-43	本光寺山門	
図1-7-44	旧石原家住宅主屋	
図1-7-45	岡崎信用金庫資料館	
図1-7-46	旧愛知県第二尋常中学校講堂	
図1-7-47	旧愛知県岡崎師範学校武道場	
図1-7-48	日本福音ルーテル岡崎教会教会堂	
図1-7-49	旧本多家住宅主屋	
図1-7-50	善立寺本堂	
図1-7-51	善立寺七面堂	
図1-7-52	善立寺玄関	

図1-7-53	善立寺山門	
図1-7-54	富田家住宅木南舎・土蔵	
図1-7-55	北野廃寺跡	
図1-7-56	大平一里塚	
図1-7-57	真宮遺跡	
図1-7-58	岩津第1号古墳	
図1-7-59	神明宮第1号古墳	
図1-7-60	太夫塚古墳	
図1-7-61	松平八代墓	
図1-7-62	岡崎城跡	
図1-7-63	山中城跡	
図1-7-64	松平清康墓(左)、松平広忠墓(右)	
図1-7-65	松平広忠公御廟所	
図1-7-66	甲山第1号墳	
図1-7-67	千人塚	
図1-7-68	藤川宿脇本陣跡	
図1-7-69	岡崎ゲンジボタル発生地	
図1-7-70	藤川の松並木	
図1-7-71	岡崎城跡の五万石ふじ	
図1-7-72	大川神明宮の舞台	
図1-7-73	万足平の猪垣	万足平を考える会
図1-7-74	猪垣の位置	
図1-7-75	滝山寺鬼祭り	
図1-7-76	千万町の神楽	千万町・木下ふるさとづくり委員会
図1-7-77	祭礼山車	
図1-7-78	祭礼山車	
図1-7-79	大嘗祭悠紀斎田	
図1-7-80	デンデンガッサリ	
図1-7-81	須賀神社祭礼山車及び祭りばやし	
図1-7-82	夏山八幡宮火祭り	
図1-7-83	堤通手永御田扇祭り	
図1-7-84	山方手永御田扇祭り	
図1-7-85	神明宮大祭	
図1-7-86	石燈籠	
図1-7-87	三河仏壇	
図1-7-88	矢	愛知県
図1-7-89	ちゃらぼこ太鼓	おかざき匠の会
図1-7-90	しめ縄	

図1-7-91	和蠟燭	おかざき匠の会
図2-1-1	松平氏・徳川家ゆかりの寺社等(主に中心市街地)	
図2-1-2	大樹寺惣絵図(寛永期)	大樹寺総絵図、東京国立博物館、Image:TNM Image Archives
図2-1-3	岡崎城天守(景観重要建造物)	岡崎市観光協会
図2-1-4	東照公産湯井と産湯井碑	
図2-1-5	東照公えな塚石宝塔	
図2-1-6	多宝塔(重要文化財)	岡崎市観光協会
図2-1-7	三門(県指定文化財)	
図2-1-8	松平八代・徳川歴代将軍位牌	
図2-1-9	鐘楼(県指定文化財)	
図2-1-10	隨身門(重要文化財)	
図2-1-11	龍城神社	
図2-1-12	龍の井	龍城神社
図2-1-13	武者行列(家康行列の前身)(大正4年)	図説 岡崎・額田の歴史
図2-1-14	龍城神社の神輿渡御	
図2-1-15	狛犬(旧岡崎藩土より寄贈)	
図2-1-16	出陣祈願の神事(伊賀八幡宮)	
図2-1-17	家康行列	
図2-1-18	菅生川(乙川)左岸河川敷での合戦演習	
図2-1-19	家康行列進行路	
図2-1-20	隊列順(例)	
図2-1-21	大樹寺から岡崎城までの市街地	
図2-1-22	石垣のみの岡崎城跡	
図2-1-23	岡崎城再建	
図2-1-24	大樹寺総門より(岡崎城再建前)	大樹寺
図2-1-25	総門越しに望む岡崎城天守	
図2-1-26	御神忌法要	大樹寺
図2-1-27	薨去 300 年の大法要(大正4年(1915))	大樹寺
図2-1-28	松平八代の廟所の清掃活動	
図2-1-29	武者的神事	伊賀八幡宮
図2-1-30	例祭の様子	龍城神社
図2-1-31	提灯行列	
図2-1-32	元旦の兎汁	
図2-1-33	家康公生誕の地にみる歴史的風致の範囲	
図2-1-34	大樹寺小学校の地下道(総門より北を望む)	
図2-1-35	家康学習(ボランティアガイド)	大樹寺小学校
図2-1-36	運動会(家康公の野外劇)	大樹寺小学校

図2-1-37	自立の活動(大樹寺の清掃活動)	大樹寺小学校
図2-2-1	古代三河の駅路	新編岡崎市史1
図2-2-2	中世の東海道(鎌倉街道)推定図	新編岡崎市史2
図2-2-3	東海道分間延絵図(本宿村・山綱村)	五海道其外延絵図_東海道_巻第7、東京国立博物館、 Image:TNM Image Archives
図2-2-4	東海道分間延絵図(山綱村・舞木村)	五海道其外延絵図_東海道_巻第7、東京国立博物館、 Image:TNM Image Archives
図2-2-5	東海道分間延絵図(藤川宿)	五海道其外延絵図_東海道_巻第7、東京国立博物館、 Image:TNM Image Archives
図2-2-6	東海道分間延絵図(岡村・生田村)	五海道其外延絵図_東海道_巻第7、東京国立博物館、 Image:TNM Image Archives
図2-2-7	東海道分間延絵図(生田村・西大平村)	五海道其外延絵図_東海道_巻第7、東京国立博物館、 Image:TNM Image Archives
図2-2-8	東海道分間延絵図(欠村)	五海道其外延絵図_東海道_巻第7、東京国立博物館、 Image:TNM Image Archives
図2-2-9	東海道分間延絵図(八町村・矢作村)	五海道其外延絵図_東海道_巻第7、東京国立博物館、 Image:TNM Image Archives
図2-2-10	東海道周辺の秋葉山常夜燈と秋葉祭の分布	
図2-2-11	秋葉山参詣道法図(杉山家文書)	新編岡崎市史3 杉山家文書
図2-2-12	甲山寺秋葉堂と秋葉大権現燈籠	
図2-2-13	秋葉山常夜燈(籠田町)	
図2-2-14	秋葉山常夜燈(花崗町)	
図2-2-15	秋葉山常夜燈(大平辻中)	
図2-2-16	総持院秋葉堂と常夜燈	
図2-2-17	秋葉山大祭 火おこし	
図2-2-18	秋葉山大祭 火渡り	
図2-2-19	東海道沿いの主な祭礼等	
図2-2-20	本宿神明社	
図2-2-21	本宿神明社祇園祭の山車巡行	
図2-2-22	祇園祭のお立宮前の神事	
図2-2-23	本宿神明社の祇園祭の山車巡行図と市街地の状況	
図2-2-24	周辺市街地の景観	
図2-2-25	山中八幡宮の社叢	
図2-2-26	山中八幡宮境内	
図2-2-27	デンデンガッサリ 稲刈り	
図2-2-28	デンデンガッサリ 牛	
図2-2-29	山中八幡宮デンデンガッサリと市街地の状況	
図2-2-30	周辺市街地の景観	
図2-2-31	津島神社祭礼のお立宮	



図2-2-32	津島神社の天王祭りの神輿渡御・竿燈行列の巡行図と市街地の状況	
図2-2-33	周辺市街地の景観	
図2-2-34	津島神社の竿燈行列の巡行	
図2-2-35	称名寺の地蔵堂と鐘楼	
図2-2-36	藤川宿の十王堂	
図2-2-37	藤川宿の称名寺・十王堂の地蔵まつりと市街地の状況	
図2-2-38	周辺市街地の景観	
図2-2-39	阿弥陀寺と地蔵堂	
図2-2-40	岡町野々宮の地蔵堂	
図2-2-41	岡の地蔵まつりと総寺禅院の秋葉山大祭火渡りと市街地の状況	
図2-2-42	周辺市街地の景観	
図2-2-43	大平一里塚	
図2-2-44	大平西町の地蔵堂と常夜燈	
図2-2-45	大平辻中の地蔵堂	
図2-2-46	大平一里塚・地蔵堂と市街地の状況	
図2-2-47	周辺市街地の景観	
図2-2-48	矢作神社	
図2-2-49	矢作神社祭礼山車巡行	
図2-2-50	矢作神社の祭礼山車の巡行図と市街地の状況	
図2-2-51	周辺市街地の景観	
図2-2-52	藤川のまつ並木(市天然記念物)	
図2-2-53	藤川のまつ並木の清掃活動	
図2-2-54	藤川宿資料館(脇本陣跡)	
図2-2-55	旧野村家住宅(米屋)	
図2-2-56	松並木と地域団地による保護活動と市街地の状況	
図2-2-57	周辺市街地の景観	
図2-2-58	吉良道道標	
図2-2-59	東海道を舞台にした信仰・祭礼等に見る歴史的風致の範囲	
図2-2-60	総合学習(藤川ガイド)の様子	
図2-2-61	総合学習(藤川ガイド)の様子	
図2-3-1	滝山寺鬼祭り(火祭り)	
図2-3-2	三界の滝	
図2-3-3	松明の作成	
図2-3-4	祭りの準備が行われる場所	

図2-3-5	滝山寺鬼まつり保存会の範囲(滝町)	
図2-3-6	瀧村地引大絵図(滝町区有文書)	日吉山王社をとりまく歴史的環境調査報告書
図2-3-7	滝山寺三門から本堂への行列	
図2-3-8	滝山寺鬼祭り 行列巡行図	
図2-3-9	庭祭り 昼寝の様子	
図2-3-10	日吉山王社前での松明点火	
図2-3-11	火祭り	
図2-3-12	精進料理	
図2-3-13	滝山寺本堂(重要文化財)	
図2-3-14	滝山寺三門(重要文化財)	
図2-3-15	日吉山王社(市指定文化財)	
図2-3-16	滝山東照宮(重要文化財)	
図2-3-17	青木川	
図2-3-18	滝山寺、日吉山王社、滝山東照宮	
図2-3-19	滝山寺鬼祭りにみる歴史的風致の範囲	
図2-4-1	岡崎城図(水野氏時代(正保2年(1645)~宝暦12年(1762)))	
図2-4-2	岡崎城下と関連社寺等の位置図	
図2-4-3	菅生神社の境内	
図2-4-4	銚船からの奉納花火(大正11年(1922))	菅生神社
図2-4-5	銚船での神事	菅生神社
図2-4-6	長持ち行列の練り込み	菅生神社
図2-4-7	菅生祭 氏子衆による長持ち行列巡行図	
図2-4-8	銚船神事(神葎流し)	
図2-4-9	岡崎城天守を背景に菅生川(乙川)に浮かぶ銚船と打ち上げ花火	
図2-4-10	岡崎天満宮の境内	
図2-4-11	長持ち行列の練り込み	中大門町
図2-4-12	岡崎天満宮の手筒花火	
図2-4-13	岡崎天満宮例大祭の長持ち行列巡行図	
図2-4-14	能見神明宮の境内	
図2-4-15	能見神明宮の神輿渡御	
図2-4-16	能見神明宮の奉納の舞	
図2-4-17	能見神明宮の山車の曳き廻し	
図2-4-18	能見神明宮の神輿渡御及び山車宮入り図(平成27年(2015))	
図2-4-19	能見神明宮の山車町曳き図(平成27年(2015))	
図2-4-20	能見神明宮境内に集結した山車	

図2-4-21	岡崎城下の三大祭りにみる歴史的風致の範囲	
図2-5-1	八丁味噌2軒の位置(江戸時代後期の絵図を現在の地図に重ねたもの)	
図2-5-2	矢作川の舟運(大正時代)	
図2-5-3	早川家「大豆買帳」(寛政8年(1796))	研究紀要 第十五号
図2-5-4	早川家「大豆買帳」(天保15年(1844))	合資会社八丁味噌
図2-5-5	早川家「地区別年代別仕入れ量の割合」	新編岡崎市史3
図2-5-6	早川家「塩買帳」の整理表	新編岡崎市史3(伊藤孝美氏作成)
図2-5-7	石積み	
図2-5-8	仕込み(踏み)	
図2-5-9	旧東海道(八帖往還通り)	
図2-5-10	早川家「江戸当座帳」の記載例	合資会社八丁味噌
図2-5-11	早川家「江戸当座帳」の年代別・問屋別の味噌販売量	新編岡崎市史3(鈴木佐知子氏作成)
図2-5-12	早川家「地廻当座帳」による地元の販売先(慶応2年(1866))	新編岡崎市史3
図2-5-13	早川家「注文覚」による問屋名(天保8年(1837))	新編岡崎市史3
図2-5-14	カクキュー建物配置	
図2-5-15	①カクキュー本社事務所	
図2-5-16	⑤カクキュー本社蔵(史料館)	
図2-5-17	⑤カクキュー本社蔵(史料館)	
図2-5-18	②新甲子蔵(昭和14年(1939)建築)	
図2-5-19	③甲子蔵(大正13年(1924)建築)	
図2-5-20	④門扉	
図2-5-21	⑥大黒蔵(明治7年(1874)建築)	
図2-5-22	⑦乾蔵(明治7年(1874)建築)	
図2-5-23	⑧米蔵(明治7年(1874)建築)	
図2-5-24	⑨本蔵(明治12年(1879)建築)	
図2-5-25	②～⑨八丁蔵通りの全景	
図2-5-26	まるや建物配置	
図2-5-27	まるや事務所	
図2-5-28	カクキュー本社の完成理想図	山超え谷超え 350年(服部臣宏氏作成)
図2-5-29	味噌分布地図	
図2-5-30	味噌田楽	
図2-5-31	煮味噌	
図2-5-32	郷土食の八丁味噌造りにみる歴史的風致の範囲	
図2-5-33	出合之像	
図2-5-34	まるやの井戸	

図2-6-1	用水配置図	
図2-6-2	中島地区耕地整理前後の状況	
図2-6-3	六手永範囲と大庄屋	新編岡崎市史 12
図2-6-4	額田手永の扇	
図2-6-5	額田手永の大麻(春木大夫銘)	
図2-6-6	犬頭神社	
図2-6-7	堤通手永御田扇祭りの渡御行列風景(平成24年(2012) 中之郷町から上青野町)	
図2-6-8	御田扇祭りの巡回ルート(堤通手永・山方手永)	
図2-6-9	現在の悠紀斎田	
図2-6-10	大正宮	
図2-6-11	お田植えの風景	
図2-6-12	お田植踊り	
図2-6-13	悠紀斎田保存会の範囲	
図2-6-14	六ツ美地区の稲作儀礼にみる歴史的風致の範囲	
図2-7-1	八劔神社	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-2	千万町の神楽 八劔神社での神楽奉納	千万町・木下ふるさとづくり委員会
図2-7-3	千万町の神楽 若宮社での神楽奉納(ホラの舞)	千万町・木下ふるさとづくり委員会
図2-7-4	千万町の神楽 神輿渡御巡行図	
図2-7-5	須賀神社	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-6	須賀神社から神明宮への祭礼山車の巡行	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-7	神明宮での祭り囃子奉納(御照覧)	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-8	須賀神社の祭礼山車巡行図	
図2-7-9	夏山八幡宮	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-10	夏山の火祭り ソダ山の点火	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-11	夏山の火祭り 鬼追い	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-12	夏山の火祭りの位置図	
図2-7-13	宮寄神社	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-14	オウダイコンの準備	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-15	オウダイコン	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-16	オウダイコンの位置図	
図2-7-17	石座神社	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-18	アマザケトウ 大根舟・甘酒・シロジロ	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-19	アマザケトウの位置図	
図2-7-20	正泉寺	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-21	大代町のオカタ送り	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-22	村境のオカタ場	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ

図2-7-23	オカタ送りの位置図	
図2-7-24	菩提院	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-25	雨山町のオカタ送り	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-26	コシと人形	新編岡崎市史額田資料編Ⅲ
図2-7-27	万足平の猪垣(中金町)	万足平を考える会
図2-7-28	孫左衛門の石垣(淡淵町)	新編岡崎市史額田資料編
図2-7-29	石積み講習会の実施(万足平を考える会)	万足平を考える会
図2-7-30	額田地区の山里のくらしにみる歴史的風致の範囲	
図2-7-31	額田の村々	額田町史
図3-1-1	ネットモニターアンケートの結果(平成 26 年(2014)9月、回答者 246 名) 「問い:岡崎市は歴史的な資源が豊富なまちであると思いますか?」	ネットモニターアンケート結果(平成 26 年9月)
図3-1-2	ネットモニターアンケートの結果(平成 26 年(2014)9月、回答者 246 名) 「問い:知っている岡崎市の「歴史まちづくり」に関する取組みはどれですか?(複数回答可)」	ネットモニターアンケート結果(平成 26 年9月)
図3-1-3	昭和 20 年(1945)以前に建築された建造物の課税件数の推移	固定資産課税台帳
図3-1-4	岡崎城と高層建築物	
図3-1-5	岡崎城への眺望と電線類	
図3-1-6	駐車場や空き地	
図3-1-7	各種案内板	
図3-1-8	旧東海道の車両通行	
図3-1-9	旧東海道沿いの休憩所	
図3-2-1	関連計画との相関	
図3-2-2	分野別の主な取組[都市インフラ]	第7次岡崎市総合計画
図3-2-3	分野別の主な取組[教育・文化]	第7次岡崎市総合計画
図3-2-4	都市像と都市づくりの目標	岡崎市都市計画マスタープラン
図3-2-5	分野別の基本方針と基本方針の考え方	岡崎市都市計画マスタープラン
図3-2-6	基本目標と基本的方向	第2期岡崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略
図3-2-7	基本方針と戦略	岡崎市シティプロモーション戦略
図3-2-8	施策の体系	第2期岡崎市文化振興推進計画
図3-2-9	環境ビジョンと環境目標等	第2次岡崎市環境基本計画
図3-2-10	将来都市像と基本戦略	岡崎市産業労働計画
図3-2-11	基本理念と重点プロジェクト	岡崎市観光基本計画
図3-2-12	岡崎市の歴史・伝統に関する景観像と景観形成の基本方針	岡崎市景観計画
図3-2-13	景観まちづくりの進め方	岡崎市景観計画
図3-2-14	計画の理念と基本目標・基本方針及び主要施策	岡崎市総合交通政策

図3-2-15	計画の理念と基本目標・基本方針	岡崎市緑の基本計画
図3-2-16	「QRUWAプロジェクト概念図」	乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画
図3-2-17	岡崎城跡整備に関する整備基本方針	岡崎城跡整備基本計画
図3-2-18	岡崎城跡整備に関する整備基本計画	岡崎城跡整備基本計画
図3-3-1	歴史まちづくりの視点と歴史的風致の維持向上に関する方針の関係	
図3-3-2	歴史的風致の維持向上に関する方針とその関係	
図3-4-1	計画実施の推進体制	
図4-1-1	歴史的風致の範囲と重点区域の関係	
図4-2-1	重点区域の位置	
図4-2-2	重点区域の区域(境界)(図中番号は次頁の区間番号)	
図5-1-1	用途地域と重点区域	
図5-2-1	景観形成重点地区	
図5-2-2	八帖のまちなみ	岡崎市景観計画
図5-2-3	八帖地区景観形成重点地区の区域(広域)	岡崎市景観計画
図5-2-4	八帖地区景観形成重点地区の区域(詳細)	岡崎市景観計画
図5-2-5	藤川のまちなみ	岡崎市景観計画
図5-2-6	藤川地区景観形成重点地区の区域(広域)	岡崎市景観計画
図5-2-7	藤川地区景観形成重点地区の区域(総括)	岡崎市景観計画
図5-2-8	藤川地区景観形成重点地区の区域(分割1/3)	岡崎市景観計画
図5-2-9	藤川地区景観形成重点地区の区域(分割2/3)	岡崎市景観計画
図5-2-10	藤川地区景観形成重点地区の区域(分割3/3)	岡崎市景観計画
図5-2-11	岡崎城天守	
図5-2-12	六供配水場配水塔	
図5-2-13	旧石原家住宅	
図5-2-14	旧野村家住宅(米屋)	
図5-2-15	カクキュー八丁味噌	
図5-2-16	まるや八丁味噌	
図5-2-17	本光寺	
図5-2-18	アイチ味噌溜店舗	
図5-2-19	善立寺	
図5-2-20	岡崎信用金庫資料館	
図5-2-21	日本福音ルーテル岡崎教会教会堂	
図5-2-22	十王堂	
図5-3-1	屋外広告物の規制と重点区域	
図5-4-1	眺望景観保全地域	
図5-4-2	大樹寺から岡崎城天守への眺め(フォトモンタージュ)	

図5-4-3	大樹寺から岡崎城天守を望む眺望景観保全地域(特別地域)の区域(解説)	岡崎市景観計画
図5-4-4	大樹寺から岡崎城天守を望む眺望景観保全地域(特別地域)の区域(広域)	岡崎市景観計画
図5-4-5	大樹寺から岡崎城天守を望む眺望景観保全地域(特別地域)の区域(詳細)	岡崎市景観計画
図6-9-1	市教育委員会の体制	
図7-2-1	事業箇所	
図7-3-1	岡崎城跡 菅生曲輪	
図7-3-2	岡崎城跡 東曲輪	
図7-3-3	岡崎城	
図7-3-4	文化財の保護とまちづくり	文化庁文化財部
図7-3-5	郷土読本「岡崎」中学校編	
図7-3-6	郷土読本「おかざき」小学校編	
図7-3-7	文化財移動教室	
図7-3-8	親子文化財教室	
図7-3-9	案内人養成の勉強風景	
図7-3-10	案内人養成の研修風景	
図7-3-11	旧アイチ味噌溜店舗	
図7-3-12	旧野村家住宅(米屋)	
図7-3-13	松明作り	
図7-3-14	行列	
図7-3-15	矢作神社の祭礼山車	
図7-3-16	能見神明社の祭礼山車	
図7-3-17	石燈籠	
図7-3-18	伝統的技術の展示	
図7-3-19	岡崎公園	
図7-3-20	旧額田郡公会堂	
図7-3-21	旧額田郡物産陳列所	
図7-3-22	米屋(修景前)	
図7-3-23	米屋(修景後)	
図7-3-24	まるや八丁味噌(修景前)	
図7-3-25	まるや八丁味噌(修景後)	
図7-3-26	岡崎城郭	
図7-3-27	籠田総門の位置(赤点線)	
図7-3-28	大手門の位置(赤点線)	
図7-3-29	八帖地区景観形成重点地区	
図7-3-30	大樹寺三門前	
図7-3-31	滝山寺参道	

図7-3-32	藤川地区	
図7-3-33	景観形成重点地区、眺望景観保全地域	
図7-3-34	大樹寺から岡崎城天守への眺望景観	
図7-3-35	大樹寺から岡崎城天守への眺望景観(ビスタライン)	
図7-3-36	ビスタライン	岡崎市景観計画
図7-3-37	観光ルートの案内看板(改修箇所)	
図7-3-38	歴史文化資産等の説明看板	

## (2)表一覧表

表 資料-2-1 表一覧表

番号	図表名	提供・出典(空欄は岡崎市所有・作成)
表0-4-1	岡崎市歴史まちづくり協議会委員構成(平成28年(2016)3月末現在)	
表0-4-2	岡崎市歴史的風致維持向上計画策定検討会議委員構成(平成28年(2016)3月末現在)	
表0-4-3	岡崎市歴史的風致維持向上計画策定検討部会部会員構成(平成28年(2016)3月末現在)	
表0-4-4	計画策定の経緯	
表1-1-1	岡崎市の合併経緯(明治22年以降)(1/3~3/3)	
表1-3-1	主要観光施設入り込み客数(平成25年(2013))	愛知県観光レクリエーション利用者統計(平成25年)
表1-4-1	岡崎歴代藩主(城主)と在籍時期等	
表1-4-2	家康公朱印拝領の寺社	
表1-4-3	家光朱印拝領の寺社	
表1-4-4	矢作橋の架橋	ふるさとの歴史岡崎
表1-4-5	岡崎市年表(主なできごと)	
表1-7-1	岡崎市の指定文化財等の件数	
表2-2-1	秋葉山常夜燈の所在地及び建立年代	
表2-4-1	能見神明宮の山車	
表2-6-1	御田扇祭り関係神社一覧	
表4-2-1	重点区域の区域(境界)【岡崎城下及び東海道地区】	
表4-2-2	重点区域の区域(境界)【滝山寺地区】	
表5-1-1	高度地区	
表5-1-2	風致地区内における許可等の基準	
表5-2-1	景観形成重点地区の概要	
表5-2-2	大規模行為等における景観形成基準	岡崎市景観計画



表5-2-3	大規模行為等における届出対象行為	岡崎市景観計画
表5-2-4	八帖地区景観形成重点地区における景観形成基準	岡崎市景観計画
表5-2-5	八帖地区景観形成重点地区における届出対象行為	岡崎市景観計画
表5-2-6	藤川地区景観形成重点地区における景観形成基準	岡崎市景観計画
表5-2-7	藤川地区景観形成重点地区における届出対象行為	岡崎市景観計画
表5-2-8	景観重要建造物の指定基準	
表5-2-9	景観重要建造物指定一覧	
表5-3-1	岡崎市屋外広告物条例に基づく禁止地域	
表5-4-1	ふるさと景観資産の選定基準	「岡崎市景観資産及びふるさと景観資産の登録等に関する要綱」第4条より
表5-4-2	眺望計画に定める事項と地域	「岡崎市水と緑・歴史と文化のまちづくり条例」第11条の3より
表5-4-3	眺望景観保全地域(特別地域)の概要	
表5-4-4	大樹寺から岡崎城天守を望む眺望景観保全地域(特別地域)における景観形成基準	岡崎市景観計画
表5-4-5	大樹寺から岡崎城天守を望む眺望景観保全地域(特別地域)における届出対象行為	岡崎市景観計画
表8-1-1	歴史的風致形成建造物候補一覧	
表8-1-2	歴史的風致形成建造物指定一覧	





岡崎市歴史的風致維持向上計画

発行 令和5年3月  
問合せ 岡崎市 都市政策部まちづくりデザイン課  
〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地  
電 話 (0564) 23-6522  
F A X (0564) 23-7967







OKAZAKI  
RENAISSANCE

#### 岡崎ルネサンスとは。

岡崎市シティプロモーションのコンセプト。徳川家康公、八丁味噌、乙川など、私たちのまちにはすでに多くの魅力的な資産がありますが、これまで培われてきた伝統や文化を、ただの伝統や文化で終わらせず、革新し、新しい価値を生み出そうとする活動。本市の活力維持、持続的な発展につなげます。

#### マークに思いを込めました。

マークの形は、徳川家の葵の紋をベースに、岡崎への愛情を深く感じられるよう、ハートのモチーフでデザインを構成。3つのハートが各方面から中心に向かっていくデザインは、これから岡崎がめざす「岡崎市民はもちろん、市外の人にも愛されるまち」を表現するとともに、岡崎ルネサンスを体現しています。